

山武の



普及だより

山武農業事務所

山武農林業振興普及協議会

〒283-0005 千葉県東金市田間2-14-2

☎ 0475-54-0226 FAX 52-7914

ホームページ <https://www.pref.chiba.lg.jp/ap-sanbu/index.html>

山武水稲生産者クラブの始動

～若手水稲生産者の発展を目指して～



写真1 生育状況を確認する方法の説明（実習）

写真2（右上）育苗の振り返りの様子（講義）

山武地域の水稲経営体には就農後間もない後継者が点在しています。それらの後継者8名を対象に、水稲栽培に関する基礎的な知識・技術の習得と情報交換を目的に、今年度から「山武水稲生産者クラブ」として活動を開始しました。

クラブ員は、山武地域全域からの参加があり、それぞれの栽培面積は約10～70haで、水稲専作や野菜との複合経営等、経営類型が様々です。

令和5年度は、6回の活動を計画し、1回目は水稲の生育ステージに合わせた管理作業の実習や講義を行いました。

今後は、今年度の水稲栽培の反省を行い、自身の経営における課題を発見し、次年度以降の解決に向けた取り組みを実践していきます。

農業事務所では、このクラブの活動を支援し、山武地域の水田農業の活性化を目指します。

山武で活躍する 若手農業者

山武市でねぎ栽培を行っている大館秀純おくだてひさみさんを紹介します。

東京都出身で研究職に就いていた大館さんは、幼少の頃から農業に関心がありました。30代で一念発起し、数年間資金を貯めた後、雇用就農で農業の世界に飛び込み、埼玉県や横芝光町で約5年間技術を磨きました。

その後、農地中間管理機構を活用し、山武市の農地を借りて、令和元年に独立しました。

当初は作業場が無く、アパートで、皮むきを手作業で行っていたため、出荷量が上がらず苦戦しました。さらに、コロナ禍で地域やJAの行事がストップし、他の農業者との交流がなくなりました。

それでも大館さんは、挨拶や立ち話などの小さな機会を大切

にして、地域の方々との信頼関係を築いていきました。

その結果、約1年半前、畑に隣接する住居と作業場を借りることができ、これを契機に消防団や自治会の活動に参加するようになり、若手農業者の仲間やパートタイムで働いてくれる雇用人者を得るなど、経営が上向きに動き出しました。

今後は、徐々に雇用を増やし、規模拡大を図るのが目標です。様々な人の縁を大切に農業経営に打込む大館さんの活躍が期待されます。



写真3 大館さんと、丹精込めて栽培した夏ねぎ

なす栽培における 新たな取組

山武地域では、温暖な気候を活かし、きゅうりやなす、トマト等の施設野菜産地が形成されています。ここでは、なす栽培における新たな取組を紹介します。

▼山武地域のなす栽培について
なす栽培は、通常、蜂による交配や着果促進剤により着果処理を行います。しかし、蜂の維持管理や着果処理には、労力がかかり、高齢化及び労力不足が進む当地域では、「着果処理の省力化」が課題でした。

▼単為結果性品種の導入
近年、着果処理が不要である単為結果性品種が種苗メーカーから開発されています。

そこで、山武地域では、単為結果性品種「PC鶴丸」の栽培に取組み、当産地における品種特性の把握を行っています。「PC鶴丸」は、着果が良いため、

初期から強めの草勢維持を行います。また、安定した枝発生と果実肥大を図るためには、従来の慣行品種に比べて、追肥やかん水の回数を2割程度増やすことが必要です。

栽培している生産者からは、「蜂の導入が不要であり、管理が楽だ」、「果形が良い」等の声が上がっています。一方で、「慣行品種と比べると1割程度減収した」「腐り果が多い」等の課題も見えてきています。

今後も、農業事務所では、「PC鶴丸」の栽培上の課題解決に向け、支援を継続します。



写真4 「PC鶴丸」栽培ほ場の様子

異常気象に負けない! ニンジン秋冬どり栽培

近年、秋冬どりニンジン栽培においては、夏季の高温・乾燥、台風、ゲリラ豪雨、暖冬による被害が問題となっています。これらの異常気象への対策を行い、被害を軽減することで、安定的なニンジン生産を目指しましょう!

▼高温・乾燥への対策

土壌消毒剤の処理効果や種子の発芽を促すため、土壌が乾燥している場合には、土壌消毒や播種前に20〜30mm程度のかん水を行います(土を手で握った時に割れ目ができる位が、適切な水分状態です)。本葉2枚頃までは高温に弱いため、胚軸が高温にさらされるとエクボ症の原因になります。そのため、2〜3葉期までに手押し中耕除草機等で培土をし、胚軸を守りましょう。6葉期までの水分不

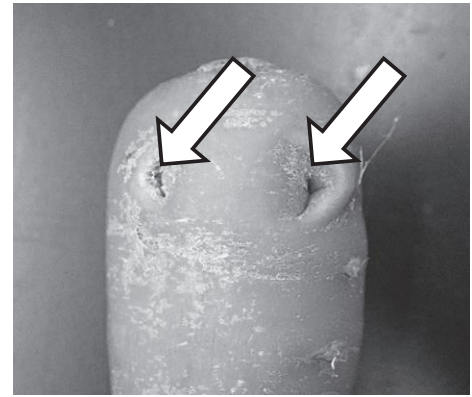


写真5 ニンジンのエクボ症

足は、生育遅延や裂根につながるもので、降雨が少ない場合は5〜6日毎にかん水し、生育を促しましょう。

▼台風・ゲリラ豪雨の対策

台風やゲリラ豪雨は、発芽不良や作物の傷みの原因になります。播種前にはサブソイラー等の施工によりほ場の排水性を改善し、栽培中に湛水した場合に溝切りやポンプによる汲み出し等により、排水に努めましょう。出芽前〜生育初期の豪雨後に土が締まった時には、手押し中耕除草機等で表土をほぐし、根への酸素供給を促しましょう。台風により茎葉が傷んだ場合に

は、速やかに殺菌剤(治療剤)を散布し、生育が遅れていれば、葉面散布剤を活用しましょう。

▼暖冬の対策

暖冬の年には、菌の活動が活発で、地上部の生育も旺盛で蒸れやすいため、菌核病等の病害が発生しやすくなります。生育後半まで薬剤散布を行うと共に、昨年病害が発生したほ場では、罹病残渣の早期除去等、注意して防除対策を行います。また、暖冬の場合には、根部が過剰に肥大する傾向にあります。早めに試し掘りを行い適期収穫に努めると共に、蒔き直し時には極端に株間を広げることは避けましょう。



写真6 手押し中耕除草機「たがやす」(株向井工業)

千葉県立農業大学校
令和6年度
入学生の募集

本県農業の担い手及び指導者を目指す入学生を募集します。

▼募集人員

農学科80名、研究科20名(推薦入学で募集する者を含む)

▼試験期日

【推薦入学】令和5年10月19日(木)

▼一般入学

A日程…令和6年1月10日(水)

B日程…令和6年2月14日(水)

▼願書受付

【推薦入学】令和5年9月15日(金)

～9月29日(金)

▼一般入学

A日程…令和5年12月4日(月)

～12月15日(金)

B日程…令和6年1月22日(月)

～2月1日(木)

▼試験実施場所

千葉県立農業大学校(東金市)

▼問合せ先

千葉県立農業大学校
試験事務局

0475(52)5121

飼料用米種子の確保とその栽培方法

近年、山武地域では飼料用米

の作付面積が増加傾向にあります。また、来年から交付単価に変更点(下段参照)があるため、多収品種への関心が高まっています。収量に応じ交付単価が変動するため、多収を目指し、経営安定につなげましょう。

▼飼料用米多収品種とは

主食用品種と比べて子実の収量が多く、主食用以外の用途向けに生産されているものです。千葉県では、「アキヒカリ」と「夢あおば」が主に栽培されています。

▼種子の確保について

昨年度は、多収品種の種子の購入希望者が増加し、種子の供給量が不足する状況でした。そこで県では「アキヒカリ」の種子増産に取り組んでいます。

▼栽培方法

① 移植

多収品種は、寒さに弱い品種が多いため、4月に移植すると低温による減収の恐れがあります。そのため、5月中旬以降に移植しましょう。

② 播種

「アキヒカリ」は乾籾140g、「夢あおば」は乾籾160gを、一箱あたり基準の播種量とします。

③ 施肥

主食用品種より多くの窒素成分を施用することで多収が期待できます。そのため、主食用品種(ふさがね)より窒素成分を1.5〜2倍程度施用します。また、出穂期以降も葉色を濃く保てるよう適期に追肥を行いましょ。

④ 乾燥

主食用米と同じような品質にする必要がないため、温度を上げて効率よく乾燥ができます。「夢あおば」は、収穫を遅らせて立毛乾燥ができ、乾燥コスト低減に繋がります。

飼料用米の交付単価が変わります!

来年から、主食用品種を用いた飼料用米に対する国の交付単価が段階的に引き下げられることになりました。飼料用米多収品種「アキヒカリ」への交付単価については変更がありません。そこで、千葉県では、多収品種「アキヒカリ」を用いた飼料用米の取組を推進するため種子を増産しています。

稲作経営や米の需給を安定させるため、主食用米から飼料用米などへの転換に引き続き取り組みましょう。

飼料用米の品種	ふさがね等の主食用品種(一括管理)	アキヒカリ等の多収品種(区分管理)
令和5年	標準単収で8万円/10a	ほ場から全量を飼料用米として出荷します。
令和6年	標準単収で7.5万円/10a	収量に応じて交付金は5.5万円〜10.5万円/10a(従来どおりの単価)となります。
令和7年	標準単収で7万円/10a	※標準単収では8万円/10a
令和8年	標準単収で6.5万円/10a	※ ² 標準単収+150kgだと10.5万円/10a

収入保険で農業経営リスクへの備えを

収入保険は、自然災害や市場価格の低下など、さまざまなリスクによる収入の減少を補償します。

加入できる方

青色申告を行っている農業者(個人・法人)

加入申込み

個人の方は12月末まで
法人の方は事業年度開始の前月末まで
千葉県では収入保険に新規加入する方を対象に期間限定で保険料補助制度を実施しています。

詳細はこちら
を確認



保険料の試算など
相談はお早めに

【問い合わせ先】

千葉県農業共済組合 収入保険課
TEL: 043(245)7447